

平成27年産米の栽培スタート!! 種子・生産資材の準備を万全に!!

平成27年産米の営農計画書を現在取りまとめておりますが、種もみ、育苗ハウスの準備や播種の計画をする時期となりました。

圃場整備工事により、引渡し時期が遅れる地域もございますが、田植えの日程を逆算して、健全な苗を育苗できるように計画しましょう。

◎気象情報 (仙台管区气象台 2月発表の3ヶ月予報より)

予想される天候の見通しについては、低気圧と高気圧が交互に通る、低気圧の通過後は寒気の影響を受ける時期がある予報です。

また、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込ですが、気温は平年並みかやや低い予報です。

月別の平均気温・降水量

	平均気温 3月	平均気温 4月	平均気温 5月
東北地方	低20 並40 高40% 平年並か高い 見込み	低40 並40 高20% 平年並か低い 見込み	低40 並40 高20% 平年並か低い 見込み

		降水量 3月	降水量 4月	降水量 5月
東北	日本海側	少30 並40 多30% ほぼ平年並 の見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い 見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並 の見込み
	太平洋側	少20 並40 多40% 平年並か多い 見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並 の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並 の見込み

◎病害虫対策情報 (宮城県病害虫防除所 昨年号より)

県内全域で『イネばか苗病』の発生が増加しております。

イネばか苗病については、県内各地で増加傾向であり、管内でも発生が見受けられましたので、特に昨年発生した場合は種子消毒の確実な実施と伝染源となる籾殻や稲わらを除去し、作業場、ハウス等の清掃を徹底しましょう。

また、浸種温度が高いまたは催芽温度が低い管理ほど発病が多くなる傾向です。

<慣行栽培 (JA米) >

種子消毒薬剤 ⇒ モミガードC水和剤 又は テクリードCフロアブル

主な使用時期 ⇒ 種もみを浸種 (水づけ) 前に『200倍液に24時間種子浸漬』

※化学合成農薬を使用した場合、本田のイネばか苗病の発生はほとんど認められない。

<特別栽培米 (環境保全米) >

①温湯消毒実施 ⇒ JAでは、60℃のお湯に10分間殺菌した種もみを速やかに水で冷やして脱水をしてから各農家へ配達しております。
(水づけ開始)

②生物農薬 (タフブロック剤) を催芽時に使用してイネばか苗病を予防。

◎タフブロック剤の使用に関する注意事項

※処理後、黄色になる特徴があります。

催芽時に『200倍液に24～48時間種子浸漬』

※使用時期を確認して、希釈倍数、使用方法を間違えないこと。

(例) ⇒ 乾燥籾20kgの場合は、【水20ℓ】に対して【薬剤100g】の希釈

※ダコレート剤、ベンレート剤などは使用できない。(効果が劣る。)

※箱処理剤は播種前後に散布しないこと。(播種同時処理不可)

※催芽処理後の乾燥方法は、陰干しとする。(天日乾燥をしない。)

※生菌剤なので、開封したら使い切るようにする。

イネばか苗病は、①温湯消毒、②タフブロックを実施した場合、軽減対策になりますが、発生する可能性もありますので、昨年発生した方は化学合成農薬の使用をお勧めします。

※環境保全米栽培は次年度以降に防除体系の変更も検討して参ります。

◎宮城県内のイネばか苗病の発生状況

図1 巡回調査（本田）における
ばか苗病の発生地点率及び
発病株率の年次推移

※平年：過去10年平均
調査時期：6月第6半旬～
7月第1半旬

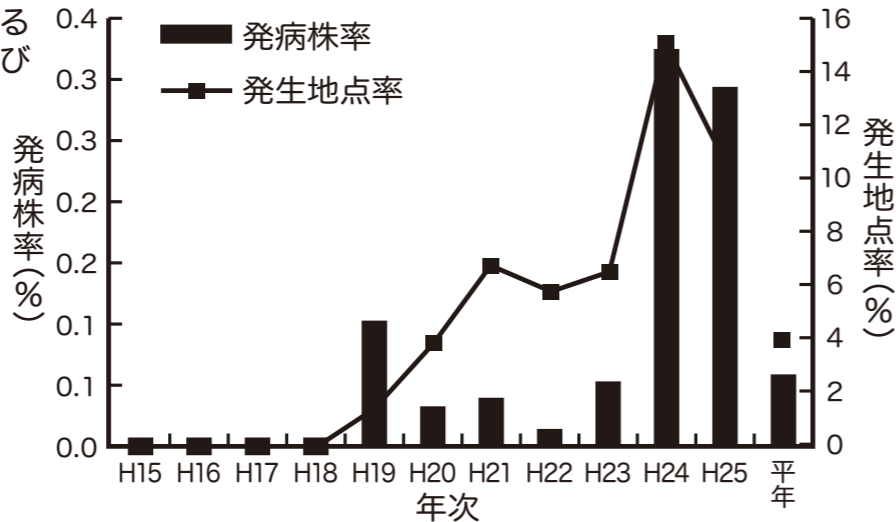


表1 平成25年の巡回調査（本田）における
種子消毒方法別のばか苗病発生状況

※調査時期：平成25年6月第6半旬～7月第1半旬
調査株数：1000株

種子消毒方法	本田での発生			発生ほ場割合 (%)	最大発病株率 (%)
	有り	無し	計		
化学合成農薬	0	6	6	0	0
温湯浸漬	6	39	45	13.3	12.7
生物農薬	1	8	9	11.1	5.3

平成25年の巡回調査の結果、種子消毒方法別の本田における「ばか苗病」の発生は、化学合成農薬では認められませんでした。温湯浸漬法や生物農薬で種子消毒を実施したほ場の一部で発生が認められ、発病株率が高い地点がありました（表1）。

◎種子消毒について



- ひとめぼれ・まなむすめの目安として水温が10℃で12日間、15℃で8日間程度であるが**10℃くらいのやや低い温度でゆっくり浸種した方が催芽・出芽の揃いは良い。**
- 水の交換は1～2日ごとに行なう。籾袋の上下交換を行い、吸水の均一化を図る。

◎播種

低温等による障害や育苗日数の長期化による老化苗等の問題が生じるため、必要以上に早播きにしない。

育苗方法	育苗日数 (日)	播種量 (g/箱)	
		乾籾	催芽籾
加温出芽稚苗	20～25	150g	180g
無加温出芽稚苗	20～30	150g	180g
中 苗	30～35	100g	125g

◎育苗期間中の管理

育苗様式別目標値

項 目	稚 苗	中 苗
草 丈 (cm)	10～15cm	13～18cm
第1葉鞘高 (cm)	3～4cm	2～3cm
葉 数 (葉)	2.1～2.5葉	3.5～4.0葉
乾物重 (g/100本)	1.2以上	2.1以上



お知らせ

営農情報については、今年度より月1回（毎月15日）を基準として発行いたします。また、緊急的な情報はその都度周知いたしますので宜しくお願い申し上げます。